

議事概要

会議の名称	令和6年度第2回三田市子ども審議会
開催の日時	令和6年7月26日(金) 10時00分～11時25分
開催の場所	本庁舎3階302AB会議室
出席した委員の氏名	名須川知子会長、中西利恵副会長、尾上尚司委員、高橋香澄委員、藤原慶子委員、原口富美子委員、森田美穂委員、濱口尚子委員、大島一晃委員、井口圭子委員、田畑梨沙委員
出席した職員の職及び氏名	(事務局) 松本子ども・未来部長、浅野学校教育部長、喜多子ども・未来部次長、松下子ども政策課長、平石子ども家庭課長、神影子ども育成課長、井上(久)保育振興課長、藤田幼児教育振興課長、増田障害福祉課長、佐藤移住定住促進課長、橋本人権共生推進課長、井上(尚)教育総務課長、田中学校教育課長、市原教育支援課長、出蔵教育研修所長、西中子ども政策課副課長、亀島幼児教育振興課副課長、西子ども政策課係長、小西子ども政策課係長、山田子ども政策課主任、荻野子ども政策課主任、谷本子ども政策課職員
傍聴人の人数	0名
議題	協議事項 (1)三田市こども計画の骨子(案)について(資料1) (2)三田市こども計画の施策体系(案)について(資料2、別紙資料)
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	【資料1】三田市こども計画(骨子案) 【資料2】三田市こども計画(第3期三田市子ども・子育て支援事業計画)施策体系(案) 【別紙資料】こども家庭庁参考資料
連絡先	子ども・未来部 子ども政策課 電話(079)559-5079

会議経過

1. 開会

- ・喜多子ども・未来部次長の司会により開会、配布資料の確認等

事務局：前回の審議会でご質問があり、後日回答としていた2点についてご報告します。

1点目は、市内の女性の雇用形態別割合について。令和2年の国勢調査において、本市の就労者に占める正規雇用者の割合は、男性が77%、女性が38.1%で、女性は男性の約半分となっています。また、女性の就労者のうち、正規雇用が38.1%、非正規雇用が61.9%となっています。

2点目は、「子ども・若者の意識に関する調査」において、安心できる居場所の数が少ない中高生・若者の回答に、どのような傾向があったかについて。居場所として概ね0～2個を選択された方の特徴として、自己肯定感や自尊感情、社会貢献意識が低い傾向が出ています。最近の生活に関する満足度も低い傾向にあり、中高生では、家庭・学校の生活への不満が高い傾向がありました。また、悩みや心配ごとを誰に相談するかについては「誰にも相談しようと思わない」の割合が高い一方、相談先としてスクールカウンセラーの割合が高い傾向もみられました。

以上のことから、事務局としては安心できる居場所づくりの大切さを再認識しています。

2. 議題

協議事項

(1) 三田市こども計画の骨子（案）について

(事務局より説明)

・・・【資料1】

会 長：33 ページの基本目標Ⅲに係る説明で、多世代交流を中心とした地域づくりや、お祭り等の地域行事のような子育て家庭を中心とした施策を記載するのはどうでしょうか。子育て施策と高齢者施策の両方に重点を置くことについても、ひとつのアイデアとしてお考えいただければと思います。

事務局：基本目標の記載につきまして、ご意見を参考に修正させていただきます。基本目標ⅠとⅡは、「こども基本法」と「こども大綱」の趣旨を踏まえ、生涯にわたる幸せ（ウェルビーイング）の向上を図るため、子ども・若者を主体として目標を設定しています。それらを実現する為にも、親子の関係や地域との関わりが重要ですので、そのあたりも含

めて記載内容を検討します。

委員：子育て家庭の教育力が落ちていると感じているので、教育力を高めていける施策があれば良いと思います。例えば、多世代交流や子育てグループの交流会のような、子育ての知識を得られる場所があると良いと思います。

私は、子どもたちと自習室で話しますが、保護者の方ともコミュニケーションが取ることができればと思います。

委員：不安定さを抱えている若者を、社会が支えていくことについて明言すべきだと思うので、ひとり親の孤立・孤独対策についても触れるのはどうでしょうか。

基本目標Ⅲの地域づくりについて。地域づくりには考え方がいくつかありますが、ここでは「〇〇台」「〇〇町」といった地縁型での話を想定されていると思います。地縁のコミュニティに支えられることもある一方で、近いが故にサポートを受けづらいつと感じる人もいます。そのような方には、同じ目的や興味を持った人が集まることのできるテーマ型団体等の方が参加しやすいのではないのでしょうか。地域づくりについて、地縁型だけに限らないようなイメージを盛り込んでもいいと思います。

委員：地縁型とテーマ型の両方があれば、より豊かなつながりができて良いと思います。あわせて、多世代のテーマ型コミュニティも求められるのではないのでしょうか。

資料1の7ページで、三田市の合計特殊出生率が、他の地域と比較して低い一方、11ページの1世帯あたりの子どもの数の平均は、他より高くなっています。また、9ページの未婚率も他の地域と比較して高いです。このあたりに鍵があるのではないのでしょうか。

委員：三田市は子どもを大事にしてくれるところだと感じました。小学生の子どもが、10日ほど学校に行けない期間があり、不登校のご家庭の思いを初めて知りました。先生が放課後に対応してくれていましたが、子ども達を支える先生の負担をもっと減らしていけたら良いと思います。親からのクレーム対応を受ける担当の部署があると、先生方も子ども達に余裕をもって対応できるのではないのでしょうか。親の経済状況や心の余裕の有無は子どもに影響すると思うので、時間がない中でも、親が変わる必要があると考えます。

会長：家庭と学校が連携を取りながら子育てができるような仕組みがあると良いと思います。

三田市には、特色があって面白いところがたくさんあります。遠くへ行かなくても、近くで多様な体験ができれば良いと思います。

多世代交流できる仕組みがあれば、高齢者も参加してくれると思います。多世代交流をポイントにした子育て支援施策ができるよう、既存のものを工夫して活用すると良いと思います。

委員：「学校に行きづらい子どもは何を求めているのか」と思いながら子どもたちと関わっていますが、子どもたちは「面白いことがない」と言います。「知りたい、何故だろう」と思う知識欲が育っておらず、安心して過ごせるところだけを求めていると思います。それは、体験不足や家庭での関わり方に原因があるのではないかと考えています。親も子どもの行動に想定外のことがあると、どうして接して良いか戸惑うので、困りごとの共有の場や子どもの体験の場といった、多様な場を作り出す地域の活力が必要ではないでしょうか。その為には情報収集が必要となりますが、コミュニティスクールが鍵になると思います。

(2) 三田市こども計画の施策体系（案）について

(事務局より説明)

・・・【資料2】【別紙資料】

委員：基本目標Ⅰ-2（2）「安全・安心な居場所づくりの推進」が学童・思春期に入っており、ここにあること自体に違和感はありませんが、全世代的に居場所づくりが必要であると感じています。

また、青年期に「就労支援」がありますが、実際には、ボランティア等の参加で社会との接点を持つような中間的就労の支援が事業の軸になると思います。表現としてはこれで良いですが、ボランティアや孤立支援等の側面があることもイメージしてもらえればと思います。

次に、外国にルーツがある子ども・若者への支援について。母国から家族を呼び寄せている方が、三田市にも増えてきています。子どもは学校での教育サポーターや翻訳のサポート等により日本語を覚えていきますが、保護者への支援が課題になっているので、検討いただきたいです。

基本理念のタイトルが長く、覚えづらいと感じるので、もう少しシンプルな表現になるよう再検討をお願いします。

基本目標Ⅲは地域づくりテーマですが、担い手育成が必要であると思います。担い手育成についての記載はどこにあるかご教示ください。

事務局：担い手育成については、基本目標Ⅲ－１（２）の「子育て・子育て支援への参加促進とネットワークづくり」に位置付けています。ボランティアの育成を目的にした事業もありますが、学校支援ボランティアやファミリーサポートセンター、ボランティア活動センターといったそれぞれの事業の中で経験を積んだ結果、次の担い手の育成につながっているところもあります。計画に具体的に記載しきれない部分もありますが、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

委員：小中学生・高校生が他人に貢献できて、喜びを感じることができる機会を与えてほしいです。多世代と関わる機会を子どもに与えていくことについて、計画に記載できれば良いと思います。

事務局：ご意見を踏まえて、検討したいと思います。

副会長：子どもの権利と保育者の権利は表裏一体です。関わる大人の権利保障が個人の努力になってしまっているのが、保育者や親をサポートする機能も必要です。例えば、子育て世代への支援と高齢者世代への支援を連動させ、担い手育成等と繋げて支援方法を検討し、提案することができるのではないのでしょうか。また、先ほど貢献の場の話がありましたが、担い手の主体性を育てるには、個々の「出番」を作る必要があると思います。多様な担い手をつなぐことについて、行政の役割が重要になってくると考えます。

会長：大きな修正意見がなければ、施策体系は概ねこの方針で進めていければと思いますが、基本理念について事務局のお考えはありますか。

事務局：基本理念案については、再度検討し、次回の審議会で提案したいと思います。

3. その他

【部長あいさつ】

4. 閉会